

- p1 理事長挨拶
- p2 顧問懇親会報告・今期発刊のebook
- p3 理事会報告
- p4 写真展報告 1

主な記事

- p5 写真展報告 2
- p6 共同受注営業記事掲載・募集
- p7 OP 展作品募集・協賛会員 Info
- p8 新入組合員・組合員情報

2012年、年頭に思う (二つの事業説明)

— 目の前の困難から一歩先の希望に向かおう — 芥川仁代表理事

新年おめでとうございます。

昨年、我が国の現代史に残る東日本大震災に見舞われた上に、福島原発事故による放射能汚染の問題は深刻さを増すばかりです。それでも新年のニュースでは、被災地の皆さまも復旧、復興へ向けて希望を持ち新しい年を迎えられたことが伺え、少しは心の休まる思いがしています。昨年は、JPU 組合員だけでなくタイ国における洪水被害で被災された賛助会員各社を始め、多くの写真関係の方々も被災されたことと存じますが、復興への希望を抱き新しい年を迎えられたことを心より願っています。

さて、JPU は創立から満8年が過ぎ、写真家の協同組合として成果を实らせることで、写真界及び社会に対して存在を示さなければならない切羽詰まった時期にきています。これまででも試行錯誤で事業展開をしてまいりましたが、皆さまに認めていただけるほどの成果を上げることはできませんでした。

しかし、少しずつですが、これまで地道に積み重ねてきた事業の成果が見えてきています。

一つは、3年前にJPU主催で開催したPLUSセミナーの成果として、JPUは昨年9月に正式な組織会員となりました。皆さんは、もうお忘れかも知れませんが、PLUSは、北アメリカ、ヨーロッパ、オセアニア、それにアジアにおいて、写真、アニメ、イラストなどの画像データを一つのサーバーで管理し閲覧し、販売にも結びつけることを目的とした画像登録サーバーを運営する非営利活動法人です。アジアでは現在のところJPUだけが組織会員で、組合員の一人一人にIDが付与されています。各人がIDを使ってPLUSのサーバーにアクセスし写真を登録することになります。PLUSはインターネットを利用するシステムなので、インターネットを使わ



ない組合員には縁遠いかも知れませんが、現在、ご自宅に眠っている写真があるならば、ぜひともPLUSを使って世界に披露して下さい。新しい境が開けるのではないのでしょうか。

もう一つは、中国との写真による交流事業です。今年が日中国交正常化40周年に当たるため、政界、経済界も様々な記念事業を計画しているようです。JPUの具体的な計画としては交流写真展があります。昨年何回も話し合い重ねてきた事業パートナーの東方インターナショナルと超党派日中友好国会議員団を通じて中国でのカウンターパートに折衝をしているところです。ただ、交流写真展は文化事業的な色合いが濃いため組合員への経済的なメリットは見込めません。この他に、写真家の双方交流撮影事業を企画しています。これは何年間に亘る事業として組合員の協力を得て、経済的なメリットも考慮しながら進めたいと計画しています。

写真界の現状としては展望を感じる新年とは言えませんが、目の前に立ちふさがり難ばかりに目を奪われるのではなく、その向こうに広がる希望に向かって歩く一年にして行く決意です。JPUは小さな組織です。組合員一人一人のご協力なくして前へは進めません。自らの協同組合であることをもう一度思い起こしていただき、積極的に事業に参加して下さいませよう切にお願い致します。



[左列、顧問席、右列奥より芥川代表理事、若生副代表理事、鈴木専務理事] 一上野・東天紅〈海燕亭にて〉一

昨年、12月16日(金)昼食を共にしながら、顧問のと意見交換が行われ、今後のJPU運営に対して、参考になるご意見を伺うことができました。「写真家の経済的バックアップができる組合にしたいと発足以来運営しているが、まま成らない現実に足踏み状態です。ご意見をお願い致します。」と芥川代表理事より挨拶があり、2時間余の謝恩懇親会が始まりました。当日は、岡井耀毅氏、石川文洋氏、丹野章氏の3名。理事は、芥川仁、若生靖夫、鈴木忍、唐木孝治、古川正夫の5名が参加。出席顧問からは、経験に基づいた「JPUはJPUらしく独自性のある事業が大切」と提言をいただき、今後に生かされると期待のもてる会となりました。(写真撮影 古川正夫 2点とも)



[出席顧問、左より石川文洋氏・岡井耀毅氏・丹野章氏]

年度内発刊予定の 電子写真集 ebook

JPU ホームページからリンクされています。
または、社名検索から入れます。



2月に桑原史成「韓国」が
ebook ジャパンから
発売されます。

カンボジアの子供たち
— 平和をください! —
天川 弘



今後、年度をはさみ、
カンボジアシリーズ
として、バク斎藤氏、
天川弘氏の2冊が発
売に向け準備されて
います。

理事意見交換会記録

2011年12月16日

午後1時45分～午後3時30分

出席理事 芥川仁 若生靖夫 鈴木忍

唐木孝治 古川正夫

「顧問謝恩懇親会」終了後、理事会招集は欠席理事が半数以上となったため、理事意見交換に変更される。議案事項中、検討事項のみ質疑応答がされ、記録として留めておく。

1 創立時の組合員からの出資金返還要求に関して： 脱退者から問合せがある出資金返還についての解答を確認。2004年5月29日に開かれた第2回総会の議事録において、議題7項に脱退した組合員への出資金返済についての決定事項がある。〈設立時の出資金は組合員個人が出したのではなく、任意団体だった旧写真家ユニオンより設立のための準備資金として受け取ったものが充当されたものであり、本来返還されるものではない。脱退した組合員は、形式的に出資金受取資格も放棄したことになる。但し、追加出資金とJPUになってから加入した組合員の出資金は、この限りではない〉

2 JPU 除名者に対して「除名されるということについて、社会的責任を認識させる必要がある」との意見に、「個人の資質の問題であり、また除名に対する社会の受取側の問題でもあり誰も制裁を課す立場にはない」

3 賦課金未納者及財務状況の報告。

4 2012年日中国交正常化40周年記念事業に対する外務省の行事認定、ロゴマーク、キャッチフレーズ使用申請を提案。

以上

.....

理事会報告 (23年度第3回)

第3回理事会議事録

会場：JPU事務局 2012年1月21日

午後2時00分～午後5時30分 終了

理事出席者 芥川仁 若生靖夫 鈴木忍

石丸幸一郎 唐木孝治 斎藤美奈子

坂本阡弘 佐藤浩視 志賀直人

杉山晃造 古川正夫

理事欠席者 なし

監事出席者 高橋喜代治

監事欠席者 あがたせいじ

案件*検討・決議事項・報告

1) 代表理事から、年頭の挨拶の後、上海関係者表敬訪問(内容は昨年11月に組合員に送付済)が切っ掛けとなった、日中国交正常化40周年文化交流事業の企画の説明がある。

中国で開催する写真展の具体的な、期間、内容、規模等をつめ、東方インターナショナルと連携して進めることで承認する。鑑定(添削)サイトの登録、試運用についてなど、東方インターナショナルとの連携事業についても、並行して進めることとする。

2) 年末までの財務状況についての報告がある
(佐藤財務担当理事)

賦課金未納者報告と納入状況についての報告がある。(事務局)

3) 各部会からの報告事項について

① ebook, 報告。プラチナフェスタ参加、報告。
(今号ニュース記事参照)

② 組合員の営業活動への宣伝&スタッフ募集記事(今号ニュース記事参照)について承認。広告掲載も有料で進めることとする。協賛申込について、写真関係については受けることに決定。(総務部)

組合員の希望に沿うメンバー確保のため、アートメンバー条件変更について、意見交換をする。意見を参考にし、市場開拓部にまとめを委ねる。(市場開拓部)

今号ニュース参照

③ レスキューナウ状況について、12月に(株)レスキューナウを訪問し従来の決めごとについて確認する。結論として、事業として続ける見込みが薄いとの報告がある。

(鈴木専務理事)

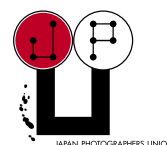
④ 著作権部から、事務局を会場とした研究会を開いてきたが、人が集まらないので、アートメンバーなど対象拡大し、教育部会と連携し例会としてワークショップなど、魅力作りに努めるので、理事全員の協力を要請する。(古川著作権担当・坂本教育部担当)

4) 広島・長崎の原爆写真のパネルセット(3セット所有)が眠っているので、貸出を広報し事業化することを決定。

5) 任期満了に伴う24年度～役員選出について話し合う。

6) 来年度の事業計画の準備に入るよう要請。

7) 組合員証のカード化の予算確保が困難なため来年度のカード化は有料とし、希望者に発行する。以外は現行通りのカードとする。

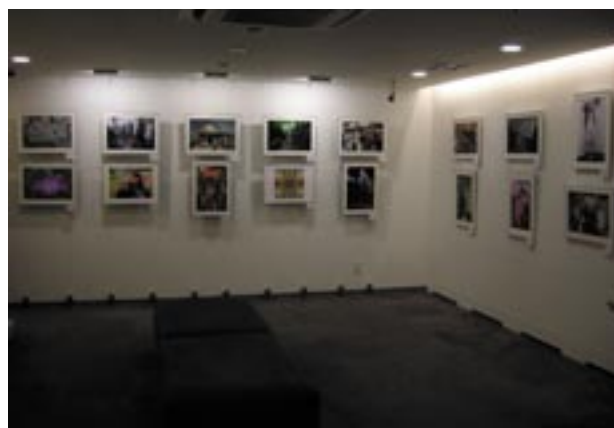


2011年後期・JPU 主催 写真展報告

会場撮影 編集部・K

「シグマレンズ魅了」 8月3日～8月10日

東京都中央区銀座3丁目にある〈株〉ナナオの「EIZO Galleria Ginza」で、JPUが貸出しを行なっている、シグマレンズの長所を紹介する、「シグマレンズ魅了」が開かれた。会期中は、150人余の来場者があり、教育事業部が中心となり、説明にあたった。スペース上、壁面への展示プリントは20点と限定されたが、3台のモニターで、出品作品100点を映し出した。作品の内容は22年度に開かれた、シグマレンズ撮影セミナーでの参加者による作品が主となった。JPUでは、シグマレンズの広報課と連携して、レンズ相談にも応じている。この年度末(3月末)を目処に、現在預かっているレンズと新旧の入れ替えが予定されている。教育事業部担当の坂本理事は「今後もメーカーへのメリットが生ずるような方法を、企画として考え実践していきたい」と話している。



「第1回 輝け！プラチナフェスタ」ブース展示に参加

11月15日～11月17日

一般社団法人 プラチナ地域文化会議からのお誘いを受けて、東京都千代田区北の丸公園内の科学技術館で開かれた「第1回 輝け！プラチナフェスタ」の1ブースに、5名のオリジナルプリントとJPUの沿革並びに加賀ハイテック（コダック担当）の協力を得て、編集受注用写真集見本の展示を行なった。急な申し出でもあったが、何とかJPUの面目を保つことができた。関係者の協力に感謝致します。主催者は、プラチナ世代に第二の人生の艶を出すためのヒントを見つけていただくためのイベントと説明している。

プラチナ世代とは艶があり何事にも意欲的な50歳以上の男女。未来の子供たちに確かな何かを残す意志を持つ人、と位置づけている。3日間の入場者数は、多いとはいえないものの、何につけても地道な活動が大切と、教えてもらったイベントでもあった。

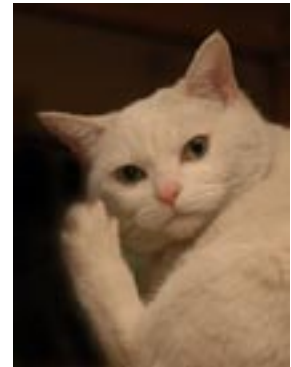


◎あなたの写真活動に役立つアートメンバーの特典が大幅にアップ！！ プロ写真家への近道になります！

(協)日本写真家ユニオンの共同受注の一環として、アシスタントなどの人材の募集、紹介を始めます。ついては、人材の確保にアートメンバー募集も含めた、今後の展開にご協力をお願いします。

自分だけではアシスタントの人件費を維持するのは大変だという方も多い昨今。閑散期にはユニオンにアシスタント登録することで、他の組合員の仕事もできるというもの。逆に、常駐アシスタントのいない組合員の繁忙期にユニオンの登録アシスタントが頼めればどちらにもメリットあるのではないのでしょうか。

勉強中のアシスタントにとっても、様々なジャンルのプロカメラマンの仕事が見られることは貴重な経験ではないのでしょうか。



2011年春に起業したわんにゃんスタッフフォトで撮影アシスタントを募集しています。組合員の皆様のご存知の方で、犬猫が好きで、写真の心得のあるまたは、これから写真を生業にしたい方がいらしたら、年齢性別を問いません。ユニオン経由ご紹介くださいませ。Photoshop でのレタッチができる方向可。

内容により、時給又は日当計算。別途交通費。

お問合せ：株式会社トップオブハート わんにゃんスタッフフォト

TEL 03-3325-9906

minisan@wannyan-photo.com

本社：新宿区西新宿 スタジオ：中野区中央1丁目

採用担当：村田三二 (JPU組合員)

<http://wannyan-photo.com/>

(募集文章提供 村田三二組合員)

JPU アートメンバーズ募集

JPUでは、組合員である職業写真家と多くのアマチュア写真愛好家および職業写真家を目指す若手との交流をはかる目的で「JPUアートメンバーズ」の募集を継続的に行っております。

* **募集資格**：制限は有りませんが、プロ写真家を目指す若手歓迎。

* **特典**；* キヤノン、ニコンマウントの各種シグマレンズ格安レンタル制度あり。(一週間500円)

* カメラマンのアシスタントとしての登録制度あり。臨時のロケアシスタントとして報酬を貰いながら勉強することが出来ます。

* 写真家ユニオン機関誌「NEWS」および不定期刊行のメールニュースが配信されます。

* 日本写真家ユニオンのHP、機関誌にご自身の写真展等の情報を掲載することが出来ます。

* ユニオンが主催するセミナー・ワークショップ、各種イベントへで組合員に準ずる割引等の優遇が受けられます。電子写真集(e-book)製作希望時にも優待有り。* プロ写真家から、アートメンバー自身の写真作品へ講評が受けられたり、写真に関する相談も可能。

・入会申し込み

所定の入会申込書に顔写真を添えてJPU事務局宛に郵送。

HPより申し込み用紙のダウンロードができます。

入会金5000円年会費(10,000円)の納入振込みが確認でき次第、メンバー登録が完了し、メンバーカードが発行されます。

申し込み・問合せは下記までお願い致します。 < JPUアートメンバーズ係 >

〒104-0041 東京都中央区新富1-4-5 東銀座ビル304

(協)日本写真家ユニオン「アートメンバーズ」係 TEL03-6280-5786 FAX03-3553-3700

< 会費振込先 >：郵便振替口座番号 0016-4-629078 口座名、協同組合日本写真家ユニオン

HP: pro-photo-union.jp/

Mail: jpu@r2.dion.ne.jp

今年もやります！

ギャラリー新居東京店・

JPU 第7回オリジナルプリント (OP) 展

ギャラリー新居東京展が移転し、この1月新規オープンしました。

JPUの事務所からほど近い、銀座

1丁目でのオープンです。(地図参照)

写真作品は売り買いの対象であることを、世間一般にアピールし、将来にむけてのマーケット(市場)を作っていくこともJPU事業の一つです。

「売れないから」と諦めていては、オリジナルプリントも認識されずに消えてしまいます。

チャレンジし続けることが道を開く術なのです。

期間：例年通り6月初旬を予定。

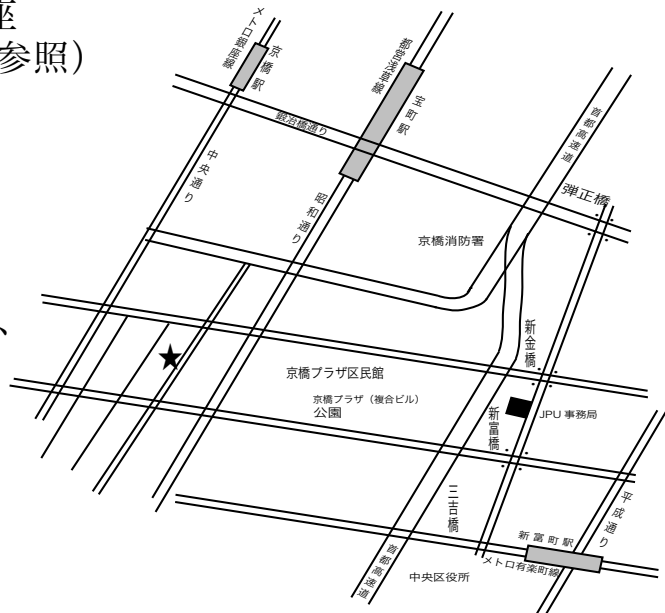
作品募集締切：3月15日迄に

DVDで作品10点、事務局に提出して下さい。

限りある会場スペースの兼ね合

いもあり、選定は昨年同様DVD提出者を対象に、ギャラリー新居と行います。

(オリジナルプリント委員会)



★ギャラリー新居：中央区銀座1-13-4 銀座片桐ビルIII 5F
TEL03-6228-7872 FAX 03-6228-7873

賛助会員 INFORMATION

NiKon

2011.9.21付～2012.1.6付

10月20日発売． レンズ交換式

アドバンスカメラ「Nikon 1 J1」

「1 NIKKOR レンズ」

VR10-30mm f/3.5-5.6

VR30-110mm f/3.8-5.6

1 NIKKOR 10mm f/2.8

VR10-100mm f/4.5-5.6 PD-ZOOM

新製品「アクセサリ」Nikon 1 V1用

スピードライト SB-N5

GPS ユニット GP-N100

12月発売 マウントアダプター FT 1

2011.11.8付

11月20日以降改正電気用品安全法に従って出荷を終了する製品

デジタル一眼レフカメラ：D 300S. D 700

ワイヤレストランスミッター：WT-3

マルチパワーバッテリーパック：MB-D10.

MB-D200.MB-D80

バッテリー室カバー：BL-3

Li-ion リチャージャブルバッテリー：EN-EL9

11.30付

12月15日発売．「スピードライト SB-910

12月13日付

Nikon1 関連商品：12月22日発売

Nikon 1 Vi ブラック． Nikon 1 J1 ブラック．

9種ボディケース．5種ボディケースセット

マウントアダプター FT 1

1 NIKKOR VR 10-30mm f/3.5-5.6 ブラック

2012年1月19日発売．4種ハンドストラップ

*マウントアダプターFT 1使用のための最新版ファームウェアダウンロード開始日

：2011年12月13日 詳細はHPで。

2012.1.6付

2月16日発売予定

デジタル一眼レフカメラ FX D4

ワイヤレストランスミッター-WT -5

パワーコネクター EP-6

3月22日発売予定

AF-S NIKKOR 85mm f/1.8G

1月19日発売予定

Nikon 1 V1 ダブルズームキット・ Nikon 1

j1 ダブルズームキット・レッド・シルバー

賛助会員～寄贈冊子

CANON

キヤノンフォトサークル「モーメンツ」
継続 2011.8～2012.1 (No.619)

新入組合員の紹介

2011年 7月加入

氏名 岩尾 克治
(いわお かつじ)誕生年 1949年
現住所 埼玉県和光市
経営会社名
〈有〉アートファイブ
東京都文京区

推薦・保証人 ① 古川正夫 ② 芥川仁

2012年 1月加入

氏名 高田 昭雄
(たかだ あきお)誕生年 1939年
現住所 岡山県都窪郡
フリーランス
得意な分野ドキュメンタリー
推薦・保証人 ① 小松健一 ② 唐木孝治

組合員の皆様へ

皆様の賦課金によって、組合は維持、運営され写真家ユニオンを支えています。今年度も残すところ2ヶ月と少し3月～4月にかけて平成24年度(2012)の賦課金徴収が始まります。平成23年度及それ以前の賦課金の納入がまだの組合員は、年間25000円の早めの納入をお願い致します。
(財務担当 佐藤浩視)

郵便振替口座番号 0016-4-629078

銀行振込

みずほ銀行 麴町支店(コウジマチシテン)
(普通) 8068050

どちらも

口座名、協同組合日本写真家ユニオン

新年度・平成24年度分(2012年4月～2013年3月)賦課金の郵便振替用紙は、3月初旬に郵送します。

4月20日までにお納めください。郵便局の賦課金自動払込みの引落日は3月30日(金)となります。残高をご確認おきください。

組合員情報

◆写真展案内

佐藤 理 出展「monochrome IV」 2011年7月13日～8/7日 ギャラリー「イー&エム」西麻布

斎藤 美奈子 出展「アートフェア東京 2001」7月29日～7月31日 東京国際フォーラム・フジカワ画廊ブース

シグマレンズによる JPU 展「シグマレンズの魅力」 8月2日～8月10日 EIZO ガレリア銀座 2F 出品協力 三信工房

JPU 企画展「名横綱双葉山定次物語」企画・取材・杉山晃造 9月6日～9月18日 ギャラリーコスモス(下目黒3丁目)

唐木孝治写真展「万華鏡で撮る！」 9月12日～10月12日 ギャラリーヴィヴァン(銀座3丁目)

小松健一主宰写真研究会「風」第2回展 10月18日～10月30日 出品者、小松健一、並木すみ江 ギャラリーコスモス

第1回プラチナフェスタ JPU ブース展示 11月15日～11月17日 出品者 あがたせいじ、唐木孝治、坂本阡弘、佐藤理、志賀直人 協力 加賀ハイテック

斎藤 美奈子 出展「Fiower」 12月14日～2012年1月9日 日本橋高島屋6階 美術画廊 X

◆寄贈図書

下記出版物のご寄贈ありがとうございました。

{宮澤賢治・雨ニモマケズという祈り} 小松健一 撮影、とんぼの本 新潮社刊、2011・7・25発行、1,600円 発行所より

{田草川 譲 作品集 2012年版カレンダー「ふるさとの花すがた」} Vol 23 制作 映像企画 タイゴ 2011・10月着 田草川氏より 1部 700円

小松健一氏寄贈

{心のふるさと雲南} 田中四郎著 光陽出版社 刊 2011・7・1発行、2,000円 著者より

{瀧巡禮} 瀬下太刀御男著 ぶどうぱん社刊 2011・8・1発行、12,000円 発行所より

{我が心の山嶺} 鈴木孝雄著 ぶどうぱん社刊 2011・9・25発行、9,975円 発行所より

編集後記

事務局を預かって、早4年が過ぎようとしている。引き受けたものの、同じ写真家の立場から云うと、組織への認識が薄い自由業人の集まりだけに、事業協力への道筋を付けるのは難しい。と愚痴りたくなる昨今だが、否応なしに時は進み、2012年も走り出した。写真家を取り巻く社会状況は厳しさを増すばかり、将来像は相変わらず不透明だ。しかしインターネット社会はスマートグリッドと呼ばれる次の時代に向かっている。過去に捕らわれず、新たなビジネスチャンスを見つける指針がJPUに課せられている。写真家の明日に繋げるための存在意義の重みが増すだろう。本年が共に素晴らしい年となりますように・・・ (T.K)